

12度 平日例会
高槻の歴史街道を歩く

[実施日] 令和元年12月5日(木)

[コース] JR高槻駅～芥川公園～八丁松原～しろあと歴史館～高槻城址～筒井池公園～清鶴蔵元～名勝玉川の里～溝咋神社～茨木童子～JR茨木駅

[認定距離] 16キロ 午後3時半頃到着予定

縮尺 1:20,000

スタート
JR高槻駅

八丁松原



ゴール
お疲れさま!

帰るときは来たとき
よりも美しく
写真以外は
取るべからず
足跡以外は
残すべからず

筒井池公園
(昼食予定地)

高槻城跡

しろあと歴史館

「シルバー川柳」
「お年です」それが病気か田舎医者

「これからの例会」

12/8	定例	フリーウォーク 淀川河川敷を歩こう JR桜ノ宮駅西口～毛馬桜之宮公園～毛馬の関門～淀川河川敷(中間ゴールは京阪枚方市駅)～枚方大橋～高槻市立総合スポーツセンター～JR茨木駅	JR 20	JR大阪環状線 桜ノ宮駅 西口 受付: 8:00～9:00
12/15	楽特	水都大阪 今も活躍 “渡船”めぐり JR西九条駅～西九条西公園～安治川トンネル～弁天埠頭～磯路中央公園～基兵衛渡船～泉尾公園(中間ゴールはJR大正駅)～千島公園～落合上渡船～西栄緑道～JR芦原橋駅	JR 8 10	JR大阪環状線 西九条駅 9:45
1/12	新春大会	第26回 JR大阪環状線ウォーク [自由歩行][参加費: 千円・中学生以下無料] 梅田スカイビル(JR大阪駅中央北口より案内)～JR天満駅～JR大阪城公園駅～四天王寺(中間ゴールはJR天王寺駅)～JR弁天町駅～JR福島駅～梅田スカイビル	JR 13 27	梅田スカイビル 受付8:00～9:00 出発8:15～9:15

- ウォーキングマナー五ヶ条
1. やあ! おはよう明るい挨拶さわやかに
 2. 信号で、あわてずあせらず待つ余裕
 3. ひろがるな、参加者だけの道じゃない
 4. 自分のゴミ、自分の責任持ち帰り
 5. 歩かせて、いただく土地に感謝して

ご注意
当協会のウォーキング参加中の事故につきましては、参加費に含まれる傷害保険の補償範囲となります。十分な準備運動をしてケガや交通事故等には注意し、無理をせず交通ルールを守って歩きましょう。

お名前 ふりがな

 **大阪府歩け歩け協会**
〒530-0012 大阪市北区芝田2-8-15
北梅田ビル211号
TEL&FAX 06-6359-7025
<http://www.owa.gr.jp>

ゴール
JR茨木駅

茨木童子の里の碑

桑田公園

育英橋

名勝玉川の里

溝咋神社

当協会は団体歩行を行いますので、リーダー・アンカーの指示に従って下さい。

『高槻の歴史街道を歩く』

城下町として栄えた高槻の史跡を訪れ、落ち着いた町屋のたたずまいを見ながら、伝統の酒造りの町を散策する「たかつき探訪」ウォークです。楽しく歩きましょう。

■八丁松原（はっちょうまつばら）

高槻の城下町に入る六口のひとつで京口と呼ばれた高槻城から西国街道まで続いた松の並木道。1649（慶安2）年に高槻城主・永井直清によって整備され、現在八丁畷町・松原町名残をとどめる。西国街道を歩くと、目につくのは道標。かつては旅人たちの道しるべでした。高槻城の城下町には他領、他国から入る道が六つあり、無条件に「開放」された町ではありませんでした。秀吉が京の町づくりの際、「御土居」と称する堤壘を築き、洛外に通じる道を設けたのは有名です。



■溝咋神社（みぞくいじんしゃ）

創建は不詳。第十代崇神天皇のころ当神社の地に創建されたと伝えられている。927（延長5）年に延喜の式内社に列している。江戸時代までは朝廷をはじめ、公家、大名、商人、農民の信仰あつく経済的にも豊かであったが、明治元年と9年に安威川が決壊し社殿・社領が荒廃する。「上の宮」（浪商学園内）と「下の宮」（現在の地）に分かれていたが、明治42年に「下の宮」に合祀された。

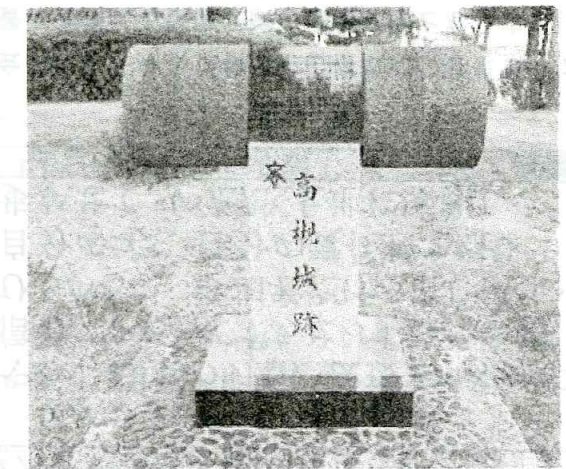
（主祭神）

- ・玉櫛媛命（たまくしひめのみこと）－ 五十鈴媛命の母
- ・媛踏鞮五十鈴媛命（ひめたたらいすすひめのみこと）

－ 神武天皇皇后

■高槻城址（たかつきじょうし）

高槻城は南北朝期の入江氏の居館に始まり、1569（永禄12）年に和田惟政が城としての基礎を固め、1573（天正元）年に高山右近が町屋を城内にとりこんで堅固な城郭を築きました。右近はキリスト教を手厚く保護し、天主教会堂を拠点に布教をすすめたと伝えられる。江戸時代、北摂唯一の城郭として重要な役割を果たした高槻城。1649（慶安2）年には永井直清が入城、以後13代、幕末まで高槻藩3万6千石の譜代大名永井家の居城となります。1874（明治7）年に京阪間鉄道建設のため石垣が破却され用材として使われ、堀は埋め立てられ宅地開発で姿を消しました。したがって、石垣など城の遺構がみられません。



現在、2018年地震被災から立ち直っていません。

■清鶴酒蔵

1856年の老舗蔵元で、かつて酒造りの一大拠点として栄えた富田の伝統「富田の酒」を守っています。もろみを袋に詰めてじっくりろ過する昔ながらの手法をとり、いたずらに量産を図ることなく手作りで製造し続けています。その味には地元高槻市民だけでなく全国の好酒家からも高い評価を得ています。